

2 効果的な被害防止対策の取組 犬による猿害防止

南木曾の忠犬



南木曾町

野生動物に対して、特別な能力を有する日本の在来種を忠犬として訓練し、鳥獣害の防止として地域で取り組んでいる。サルに対しては、どこまでも追いかけて被害を防いでいるが、イノシシ等の大型獣には効果がないとの事。

「忠犬」の注意を呼びかける看板



南木曾町

観光地ならではの注意表示。人間に飼い慣らされた犬と言えども、ここを訪れる方に理解をしていただければならない。

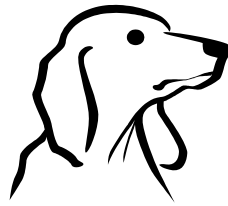
モンキードッグ勢ぞろい



大町市

市内の至る所に出没するサルは、約600頭、9群から構成されており、農作物を荒らすなど人との共生にはほど遠いサルの存在である。サルを見たら追い払い、また元の場所に戻る訓練されたモンキードッグは、猿害防止に役立っている。

全国初のモンキードッグが活躍（長野県大町市）



大町市では、猿を追い払うように訓練された犬「モンキードッグ」を全国に先駆け導入し、効果を上げている。

平成17年5月から住民が飼う犬を訓練調教し、7月末からモンキードッグとして運用を開始。現在、大町市で活躍するモンキードッグは8頭。

大町市によると、市内には約600頭の猿が9つの群れをつくり農作物を荒らしているが、この事業開始後はモンキードッグのいる農家の周辺地域に猿が出没しなくなり、被害も減ったという。

モンキードッグの選定基準

中型以上で大町市内の農家等が飼養又はこれから飼養しようとする犬

訓練期間・内容

基礎訓練4ヶ月、現地訓練1ヶ月

- ・ 人に危害を加えない
- ・ 猿を見たら追い払う
- ・ 追い払い終了後は戻ってくる

市内の農家等「飼い主」から広報等で募集 ⇨ 市で犬を確認 ⇨ 長野県警察犬訓練所（民間）へ訓練委託

効果

- 1 現地に犬を投入して2ヶ月経過後くらいから、周辺への猿群の出没が激減する。
- 2 農作物被害が減ることから、遊休荒廃農地が減少する。
- 3 訓練を行うことで犬が扱いやすくなる。

課題

- 1 農家等の飼い犬を利用するため選定が難しい。
- 2 飼い主が犬の近くにいないと、けい留を解くことができない。
- 3 犬が嫌いな人もいるので、モンキードッグとわかるものが必要となる。等